

当院における常染色体優性多発性嚢胞腎症例の特徴に関する研究

1. 研究の対象

2010年8月～当院腎臓内科を受診した常染色体優性多発性嚢胞腎症例

2. 研究目的・方法

本研究では、ADPKDの進行を促進または抑制する因子を多角的に検討し、以下の課題を解明することを目的とする。

1. 遺伝的および臨床的要因（高血圧、蛋白尿、嚢胞成長速度など）がADPKD進行に与える影響の検証。
2. ライフスタイル因子（食塩摂取量、肥満、喫煙、脱水など）と腎機能の低下との関連性の解析。
3. 炎症および酸化ストレスが嚢胞増大や腎障害に及ぼすメカニズムの解明。
4. 合併症（尿路感染症、尿路結石、血尿）による腎機能低下への影響の評価と合併症を頻回に認める症例の特徴の検証。

上記を2010年8月～当院腎臓内科を受診した多発性嚢胞腎症例を対象とした後ろ向き観察研究を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、併存疾患の状況、生活習慣など問診内容、身体所見、各種画像検査結果 等

試料：血液・尿検体 等

4. 外部への試料・情報の提供

当院内でデータ解析を行いますので、外部への提供はありません。ただ、資料の測定のため外注検査を依頼する場合がありますが、個人情報は保護されます。

5. 研究組織

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

(2023年7月4日)

研究責任者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳

研究代表者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳

(2023年7月4日)